

会 議 録（1）〈要約〉

会議の名称	令和5年度 第2回 桶川市まち・ひと・しごと創生有識者会議
開催日時	令和5年8月25日（金） （開会）午後1時30分・（閉会）午後3時00分
開催場所	桶川市役所5階 全員協議会室
主宰者の氏名	
議長の氏名	
出席者氏名 （委員）	岡安委員、新島委員、関口委員、田中委員、 新妻委員、西岡委員、町田委員、西出委員、勇委員
欠席者氏名 （委員）	岩崎委員、柳田委員、相澤委員、吉田委員、都築委員
説明員氏名	
事務局職員 職名及び氏名	企画財政部 野口副部長 企画調整課 向井課長、棚橋係長、野原主任
会 議 事 項	議 題
	【報告】 （1）第1回桶川市まち・ひと・しごと創生有識者会議の会議録について
	【議題】 （1）桶川市デジタル田園都市構想総合戦略に係る指標について （2）桶川市デジタル田園都市構想総合戦略について
決定事項等	<p>■本日のご意見を踏まえ、次期戦略の策定を進める。</p>
配布資料	<p>資料1・・・第1回桶川市まち・ひと・しごと創生有識者会議の会議録</p> <p>資料2・・・桶川市デジタル田園都市構想総合戦略に係る指標検討資料</p> <p>資料3・・・桶川市デジタル田園都市構想総合戦略（検討資料）</p> <p>補足資料1・・・桶川市まち・ひと・しごと創生有識者会議委員名簿</p> <p>補足資料2・・・地方自治体におけるこども政策に関する連携体制の事例把握調査について（令和4年9月）内閣官房こども家庭庁設立準備室</p>

会 議 録 (2)

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
報告(1) 第1回桶川市まち・ひと・しごと創生有識者会議の会議録について	
事 務 局	資料1に基づき、第1回桶川市まち・ひと・しごと創生有識者会議の会議録について説明。
座 長	ただ今説明のありました件について、何かご意見やご質問等がございますか。
委 員	なし
議題(1) 桶川市デジタル田園都市構想総合戦略に係る指標について	
事 務 局	資料2に基づき、桶川市デジタル田園都市構想総合戦略に係る指標について説明。
座 長	ただ今説明のありました件について、何かご意見やご質問等がございますか。
委 員	「施策1-2ふるさと愛を育む環境をつくる」の参考指標2について、「(1)桶川市のことが好きな子どもの割合」は60.2%と高いのに、「(2)桶川市に住み続けたいと思う子どもの割合」が11.5%、「(3)進学や就職で一時的に桶川市を離れてもまた戻ってきて住みたいと思う子どもの割合」は16.3%と、(1)に比べると低位に留まっています。この理由について、どのように分析されていますか。
事 務 局	この参考指標の現状値は、第六次総合計画の検討に当たり、令和4年1月に市内中学校の2年生を対象に実施した、アンケート調査の結果となります。このアンケート調査は、子どもが考える桶川市の将来像を把握することを主な実施目的としており、ご指摘の設問には、選択した理由を更に掘り下げる設問は設けておらず、分析は行っていないところです。
委 員	今回、参考指標としている子どもの意識について、他市町村でも同様の調査をされていると思いますが、他市町村との比較など、分析を行っていますか。
事 務 局	他市町村においても、計画策定時などに子どもを対象にしたアンケート調査を行っておりますが、今回、総合戦略の指標とするにあたり、他市町村の数値との比較など分析は行っていないところです。
委 員	「施策3-1良好な生活圏域の構築を図る」の参考指標2の「(2)日出谷地区におけるコミュニティの拠点整備」について、対象を日出谷地区に限定している理由を教えてください。
事 務 局	本市では、平成23年4月の第五次総合振興計画以来、土地利用の基本方針の一つに「歩いて暮らせるまちづくり」を掲げており、市内を5つの生活圏域に分け、各地区に生活機能を集約する拠点を配置することとしています。現在、各地区の拠点整備も進展し、総合戦略上、ハード面で取り組む必要があるのは、日出谷地区のコミュニティ拠点となっています。
委 員	「施策4-1広域交通網の利便性を生かした身近な雇用の創出を図る」の取り組みの視点について、企業の誘致だけでなく、起業を支援するという視点を入れてはどうでしょうか。【意見】
事 務 局	起業支援も身近な雇用の創出に関連する大切な取り組みだと考えておりますので、具体の取り組みとして、計画に位置付けてまいります。

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 内 容
委 員	市では、複数の部署で子育て支援に関係するアンケートを実施していると思います。そうした複数のアンケート結果を庁内で共有し、施策の立案に有効に活用する仕組みはあるのでしょうか。
事 務 局	実施の目的は様々ですが、複数の部署でアンケート調査を実施しています。この中には、子育てに関連する設問を含むアンケートもございます。アンケート調査の実施目的に応じた活用を図っておりますが、庁内横断的に有効活用する仕組みにつきましては、今後、検討してまいります。
委 員	「施策2-2 生活の活動軸の充実を図る」の取り組みの視点に、「住宅都市としての地域性と利便性を活かし、通勤・通学などにおけるアクセス機能の向上を図る。」とありますが、これは、例えばデマンド交通など、公共交通の更なる充実を図るという意図なののでしょうか。これを取り組みの視点に設定した背景を説明ください。
事 務 局	生活の活動軸の充実は、住宅都市として、生活の質を高めるまちづくりを推進する本市にとって、重要な視点となります。このため、参考指標2では、都市計画道路の整備率、東口駅前広場や駅東口通り線の整備を掲げております。これにあわせ、ベにばなGOや民間バス事業者と連携を図りながら、移動ニーズに即した公共交通の充実を図ってまいりたいと考えております。なお、現時点において、デマンド交通など新たな公共交通等の導入を前提とした記載とはしておりません。
委 員	「施策4-1 広域交通網の利便性を生かした身近な雇用の創出を図る」の取り組みの視点に、「圏央道IC周辺における産業施設の立地誘導を図る。」とありますが、上尾道路の沿道に企業を誘致することは考えないのでしょうか。
事 務 局	産業の振興として、上尾道路の沿道につきましても、周辺の田園環境や生活環境、景観に配慮の上、交通利便性を活かした適切な土地利用を通じ、物流施設の誘導などを図ってまいりたいと考えております。
座 長	他に何かご意見やご質問はありますか。
委 員	なし
議題(2) 桶川市デジタル田園都市構想総合戦略について	
事 務 局	資料3に基づき、桶川市デジタル田園都市構想総合戦略について説明。
座 長	ただ今説明のありました件について、何かご意見やご質問等がございますか。
委 員	15 ページ以降に、資料2に基づき各指標や現状値が記載されていますが、それぞれの指標の目標値はどのように定めていくのでしょうか。例えば、施策1-1の参考指標2には合計特殊出生率がありますが、どれくらいの数値を目標値とするかによって、取組の内容が変わってくると思います。
事 務 局	過去のデータが推移として把握できるものは、推計値を参考にしながら、目標値を設定してまいります。 この中で、合計特殊出生率は、日本の出生数の減少に歯止めがかからない中、今後の予測が難しい状況にあります。日本は、結婚と出生に強い相関がありますので、結婚や出産を希望される方が、社会的、経済的な理由であきらめる事がないようにする必要がございます。現在、国におきましても、こども未来戦略方針を策定し、経済成長と少子化対策に両輪で取り組む事としておりますので、この点も踏まえ、目標値の検討を行いたいと考えております。

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 内 容
委 員	資料3の5ページに令和10年1月1日時点の将来目標人口72,800人とありますが、なぜこの人口を目指さないといけないのか理由が伝わりにくいと思います。市税収入の減少など、行財政の観点から、当該目標値を設定したのでしょうか。また、総合戦略として、人口増を目指す世代はどこになりますか。
事 務 局	将来目標人口は、これまでの人口の推移に加え、転出抑制、転入促進など一定の要因を加味し推計しております。このため、行財政運営の視点から逆算したものとはなっておりません。 少子高齢化と人口減少が同時に進行することにより、市税収入の減少や、高齢化による社会保障経費の増加など、厳しい財政局面を迎えることとなります。総合戦略は、持続可能なまちづくりに向け、本市の人口減少を前提におき、その減少幅の抑制に向け、必要な施策を体系的にまとめたものとなります。また、人口増を目指す世代は、若者、子育て世代となります。
委 員	人口減少抑止策として、転入と転出の関係を示す社会動態では、転入増となる社会増を目指す必要があります。川田谷地区や加納地区の大半は、市街化調整区域となっており、市街化が制限されています。現在の市街化区域の中で、社会増に向け、新たな住宅を建てる余地はあるのでしょうか。
事 務 局	坂田地区や日出谷地区における土地区画整理事業を実施した新市街地には、空閑地があり、新たに住宅を建設する余地は十分ございます。 一方、駅周辺の既成市街地では、既に住戸が密集しているため、住み替えによる転入促進となります。
座 長	他に何かご意見やご質問はありますか。
委 員	なし
座 長	それでは、本日のご意見を踏まえ、次期戦略の策定を進めていただければと思います。
その他	
座 長	事務局や委員の皆様から、ご意見のある方はいらっしゃいますか。
事 務 局	本日のご意見を踏まえ計画案を策定し、パブリック・コメントなど所定の手続きを経て、本年度中に計画を策定する予定です。
座 長	それでは、以上をもちまして、令和5年度第2回桶川市まち・ひと・しごと創生有識者会議を閉会いたします。お疲れ様でした。